

平成29年度
花巻市行政評価委員会の評価結果に対する市の考え方

平成29年10月 花巻市

目 次

政策No.・政策名	施策No.・施策名	部会	ページ
1-3 商業の振興	1 商業形態の多様化	しごと	1
1-4 観光の振興	2 観光情報の発信		3
1-5 農工商観連携の推進	2 特産品の開発		4
1-6 雇用環境の充実	1 職業人材の育成		5
2-4 日常生活の安全確保	1 生活相談の充実	暮らし	6
	2 防犯活動の推進		7
	3 交通安全の推進		8
2-5 福祉の充実	1 地域福祉の推進		9
	2 長寿福祉の推進		10
3-1 子育て環境の充実	1 子育て環境の充実	人づくり・ 地域づくり	11
3-3 生涯学習の推進	1 自主的学習の推進		13
	2 青少年の社会教育		15
3-4 スポーツの振興	1 生涯スポーツの推進		18
行政評価の改善に関する提言			20

施策No.1-3-1「商業形態の多様化」

【しごと部会】

評価項目	検証・評価結果、指摘事項等	市の考え方	担当部課名	
<p>① 施策を構成する事務事業の評価・検証について</p> <p>・「4 施策を構成する事務事業一覧」の「施策への貢献度」の評価が的確に行われているか。</p>	<p>商店街賑わい再生戦略事業の「直結度」：この事業を構成するセミナー等は即効性が必ずしもないこと、市内全域を対象とする事業であるにもかかわらず「小さな百貨店ぷらっと」（石鳥谷中央通り商店街振興会）が一部地域に限定されていたことにより、B評価。</p> <p>買い物困難者対策事業（ゼロ予算）の「直結度」：国の補助事業を活用した事業への販売場所等の提供に限られていることにより、B評価。</p> <p>以上の評価がなされていたが、消費者のニーズに対応した多様な商業形態形成にとって、2つの事務事業は直接貢献しており、「直結度」はA評価としても良いのではないか。</p>	<p>商店街賑わい再生戦略事業につきましては、一部地域に限定されていること、また、買い物困難者対策事業につきましては、補助金を利用した販売場所の提供のみであり、買い物困難者全体の把握等が十分でないことから、いずれも全体を網羅するものでないと判断し、B評価といたしましたが、消費者ニーズに対応した多様な商業形態の形成の観点では、ご指摘のとおり直結度は高い事業であると認識しています。今後、直結度の判断基準の統一・明確化とともに的確な評価につなげます。</p>	<p>商工観光部 商工労政課</p>	
<p>② 施策の成果指標及び達成状況の分析について</p> <p>・「3 成果指標の達成状況」の「達成状況に関する背景・要因」の分析が的確に行われているか</p>	<p>「まちづくり市民アンケート」に基づいて、単純集計（成果指標はこの数値）のみならずクロス集計（世代、地域）の動向についても説明がされ、的確に分析されている。</p> <p>なお、岩手県による消費購買動向調査の結果も踏まえて、今後さらに分析を深めてほしい。</p>	<p>今後、事業効果を最大限発揮できるよう、県消費購買動向調査等のデータを適切に活用し、事業に反映させてまいります。</p>		
<p>③ 施策の総合的な評価について</p> <p>・「6 施策の総合的な評価」が的確に行われているか。</p>	<p>課題と方向性について記載されているが、課題の文章表現がわかりにくい。また、方向性について、「小さな百貨店ぷらっと」という成功事例を、他の地域にも浸透させるということを付加すべきである。</p>	<p>課題の文章表現については、わかりやすく記載するよう努めます。また、いただいた方向性のご意見については、今後の施策展開の参考といたします。</p>		

④ シート記載内容について	直結度についての客観的な判断基準等が明示されていればさらによい。	現在、直結度の評価については明確な判断基準がなく、結果的に施策主管課の主観となっていることから、来年度に向け明確な基準の設定を検討します。	総合政策部 秘書政策課
---------------	----------------------------------	---	----------------

施策No.1-4-2「観光情報の発信」

【しごと部会】

評価項目	検証・評価結果、指摘事項等	市の考え方	担当部課名
<p>① 施策を構成する事務事業の評価・検証について</p> <p>・「5 施策を構成する事務事業の検証」が的確に行われているか。</p>	<p>観光情報発信事業の多くが花巻観光協会への委託事業であるが、この事業の効果・課題・今後の方向性等についての花巻市のチェック機能が十分に働いているのかが不明瞭である。</p>	<p>事業実施にあたっては、市と花巻観光協会との事前打ち合わせを行い、事業効果、課題等について、議論を行いながら進めております。また、期待する効果が得られない場合は、事業の中止や変更を行ってきております。今後においても、効果的な事業の実施に努めるとともに、検証結果を明示できるようにします。</p>	
<p>② 施策の成果指標及び達成状況の分析について</p> <p>・「3 成果指標の達成状況」の「達成状況に関する背景・要因」の分析が的確に行われているか。</p>	<p>要因・背景分析の中心が花巻温泉郷への効果に関するものである。花巻市の構成地域である石鳥谷、東和、大迫地域への効果についても分析が必要ではないか。</p>	<p>この施策が属する政策「観光の振興」の成果指標として、「観光客入込数」を設定しています。この指標は花巻温泉郷等への宿泊者数と、観光施設やイベント等の入場者数で構成されますが、このうち、地域経済への影響の度合いが大きい宿泊者数の増加に重きを置いて本施策を推進しているところです。今後は、大迫、石鳥谷、東和地域への効果についても分析し、より効果的に施策を推進します。</p>	<p>商工観光部 観光課</p>
<p>③ 施策の総合的な評価について</p> <p>・「6 施策の総合的な評価」が的確に行われているか。</p>	<p>課題に対応した方向性は的確にとらえられている。ただし、この施策の目指す姿の目標は達成しているが、この事業を通じて、市内全域へ経済的波及効果をもたらすというさらなる課題が浮き彫りになった。この事業を通じて、宿泊のみならず、イベント参加者の増加、食事の提供やお土産の売り上げ増にいかに関わりつけていくか、という課題を明確にしても良いのではないか。</p>	<p>毎年実施しております観光客動態調査の結果によると、本市を訪れる目的の多くは温泉や宮沢賢治ですが、今後、グルメやイベント、体験型観光などますます多様化するものと考えられることから、豊富な観光資源のさまざまな切り口を見出し、地元経済に貢献できるよう花巻観光協会をはじめ、観光関係者ととも検討してまいります。</p>	
<p>④ シート記載内容について</p>	<p>施策の基本情報項目の現状と課題において、現状については記述されているが、課題については未記入である。主管課の説明では触れられていたので、記入すべきである。</p>	<p>今後は、課題についても記載します。</p>	

施策No.1-5-2「特産品の開発」

【しごと部会】

評価項目	検証・評価結果、指摘事項等	市の考え方	担当部課名
<p>① 施策を構成する事務事業の評価・検証について</p> <p>・「4 施策を構成する事務事業一覧」の「施策への貢献度」の評価が的確に行われているか。</p>	<p>「直結度」の評価は適切に行われている。ただし、特産品開発・販路拡大事業について、この事業の成果に対する評価はCであるが、ヒアリング時に平成28年度の実績実例の紹介があり、それを考慮すると今後の高評価が期待できる。</p> <p>なお、次のような意見が出た。業者への補助なのか、地域の発展にどのように繋がるのかが必ずしも明確になっていない。特産品開発の土台となる農畜産物素材がどのような状況なのかの検討が少ない。「はなまき産業大博覧会」をもっと有効に利用し、市民ニーズの発掘につなげてほしい。地域の隠れた特産品を再発見してほしい。</p>	<p>いただいたご意見については、今後の施策展開の参考といたします。</p>	<p>商工観光部 商工労政課</p>
<p>② 施策の成果指標及び達成状況の分析について</p> <p>・「3 成果指標の達成状況」の「達成状況に関する背景・要因」の分析が的確に行われているか。</p>	<p>的確に行われている。ただし、D評価になっているが、内部評価の基準が厳しすぎるのではないか。</p>	<p>成果指標が複数ある施策の場合は指標ごとの達成状況を総合して達成度を判定しますが、成果指標が1つのみの施策の場合は成果指標の達成状況が直に達成度の判定につながります。本施策は成果指標が1つのみであるため、目標を達成できなかった場合にはD評価という判定となるものですが、成果指標が複数ある施策との公平性を勘案すると、現状の基準が適当であると考えます。</p>	<p>総合政策部 秘書政策課</p>
<p>③ 施策の総合的な評価について</p> <p>・「6 施策の総合的な評価」が的確に行われているか。</p>	<p>農工商観連携事業であるが、観との連携という課題についても明示するべきである。この事務事業の制度そのもののPRがもっと必要ではないか。特産品開発の土台となる農畜産物をつくる農家等の課題との関連についても明示するべきではないか。</p>	<p>ご指摘いただいたとおり、現状では観との連携が弱いことから、関係課との連携を図り、適切な情報発信を行ってまいります。また、これらを踏まえてわかりやすく記載するようにいたします。</p>	<p>商工観光部 商工労政課</p>

施策No.1-6-1「職業人材の育成」

【しごと部会】

評価項目	検証・評価結果、指摘事項等	市の考え方	担当部課名
<p>① 施策を構成する事務事業の評価・検証について</p> <p>・「4 施策を構成する事務事業一覧」の「施策への貢献度」の評価が的確に行われているか。</p>	<p>「直結度」の評価は適切に行われている。ただし、各事業の成果はC評価となっているが、実績を見ると、必ずしも悪くない。目標値の設定に工夫が必要である。</p>	<p>目標値の設定につきましては、環境の変化（雇用情勢の好転など）により実績と乖離する例があり、予測困難な場合もありますが、過去の傾向や当該施策の効果などをしっかり見極め、適切な数値となるよう留意します。</p>	<p>商工観光部 商工労政課</p>
<p>② 施策の成果指標及び達成状況の分析について</p> <p>・「3 成果指標の達成状況」の「達成状況に関する背景・要因」の分析が的確に行われているか。</p>	<p>的確に行われている。ただし、達成度の評価はC評価となっているが、実績をみると、上昇している成果指標もある。成果指標の目標値設定に工夫が必要である。達成度を上げるためには、研修制度のPRを通じた企業への周知徹底、研修制度が企業ニーズに合った内容なのかどうかの検討、企業に対する研修資料の配付等の工夫が必要である。</p>	<p>成果指標の目標値につきましては、実績などを勘案して第2期中期プラン（H29-H31）策定時に平成29年度分より変更しております。また、達成度を上げるためにいただいたご指摘はそのとおりであり、ご意見を反映させた事業展開を図ってまいります。</p>	
<p>③ 施策の総合的な評価について</p> <p>・「6 施策の総合的な評価」が的確に行われているか。</p>	<p>課題・方向性が的確に示されている。さらに、離職対策を積極的に重視するということを明示した方が良い。</p>	<p>岩手県は全国に比べ離職率が高い傾向にあり、職業安定所によると、花巻市も同様の状況にあるとのこと。企業の人材育成にあたっては企業各社それぞれの考え方や方針が尊重されるところであり、行政が積極的に介入することは難しい面もあります。そのなかで支援を求める企業へのフォローは当然のこととして、児童・学生時代からの就労意識の向上や職業観を醸成する事業で対応していきたいと考えております。</p>	

施策No.2-4-1「生活相談の充実」

【暮らし部会】

評価項目	検証・評価結果、指摘事項等	市の考え方	担当部課名
<p>① 施策を構成する事務事業の評価・検証について</p> <p>・「5 施策を構成する事務事業の検証」が的確に行われているか。</p>	<p>構成する事務事業の検証については、おおむね的確である。</p> <p>なお、「新たに取り組むべき事業はないか」について、「タイムリーで確実な情報伝達手段」との記載があるが、その具体的な例示があれば良い。</p>	<p>「タイムリーで確実な情報伝達手段」については、現在も模索中であることから、具体的な内容までは記載しておりません。</p>	
<p>② 施策の成果指標及び達成状況の分析について</p> <p>・「3 成果指標の達成状況」の「達成状況に関する背景・要因」の分析が的確に行われているか。</p>	<p>実績値の増減理由は明らかになっているとは言えない（把握できていない）。そもそも市民アンケートの設問が分かりにくい。また、達成状況の要因を「情報発信不足」と分析しているが、情報発信の方法が適切でないことが原因ではないか。全体として、更に詳しい分析が必要である。</p>	<p>市民アンケートの設問を工夫するとともに、出前講座受講者に独自にアンケートを実施するなど状況分析に努めます。</p>	<p>市民生活部 市民生活総合相談センター</p>
<p>④ シート記載内容について</p>	<p>講座等受講者の年代別データ、相談受付件数のうち解決件数など、もう少しデータがあれば良い。また、こういった相談が多いのかも分かれば良い。</p>	<p>ご指摘のデータ等を根拠としながら、具体的にシートに記載するよう努めます。</p>	

施策No.2-4-2「防犯活動の推進」

【暮らし部会】

評価項目	検証・評価結果、指摘事項等	市の考え方	担当部課名
① 施策を構成する事務事業の評価・検証について ・「5 施策を構成する事務事業の検証」が的確に行われているか。	構成する事務事業の検証については、おおむね的確であるが、身近に出来る対策については、もう少し具体的な内容がほしい。	「犯罪抑止のための身近にできる対策」については、現在も検討中であることから、具体的な内容までは記載しておりません。	市民生活部 市民生活総合相談センター
③ 施策の総合的な評価について ・「6 施策の総合的な評価」が的確に行われているか。	課題として取り上げられている「防犯隊員の高齢化や後継者の不足」への対応策についても記載するべきである。	「防犯隊員の高齢化や後継者の不足」への対応策については早急に検討すべき課題であると認識しており、今後も継続して検討してまいります。	

施策No.2-4-3「交通安全の推進」

【暮らし部会】

評価項目	検証・評価結果、指摘事項等	市の考え方	担当部課名
<p>② 施策の成果指標及び達成状況の分析について</p> <p>・「3 成果指標の達成状況」の「達成状況に関する背景・要因」の分析が的確に行われているか。</p>	<p>交通安全コンクール「チャレンジ100」の参加者数が目標に達しなかった要因として、「事業に対するマンネリ感」と分析しているが、マンネリ感と判断した根拠も記載してあれば分かりやすい。</p>	<p>「マンネリ感」は担当職員の感覚による分析であり、根拠が不足していたため、今後は裏付けとなるデータなどを明確にしながら、わかりやすく記載するよう努めます。</p>	<p>市民生活部 市民生活総合相談センター</p>
<p>③ 施策の総合的な評価について</p> <p>・「6 施策の総合的な評価」が的確に行われているか。</p>	<p>課題として取り上げられている「交通指導員の不足」への対応策についても記載するべきである。また、交通指導員の現在の定数が適正であるかの評価も必要ではないか。</p>	<p>「交通指導員の不足」への対応策については、早急に検討すべき課題であると認識しており、今後も継続して検討してまいります。また、交通指導員の定数については、他市の状況やこれまでの活動状況から適正かどうか検証してまいります。</p>	
<p>④ シート記載内容について</p>	<p>交通安全推進事業の事務事業評価シートについて、事業手法の詳細欄に図示しているが、矢印の意味を記載した方がより分かりやすい。</p>	<p>わかりやすいシートの記載に努めます。</p>	

施策No.2-5-1「地域福祉の推進」

【暮らし部会】

評価項目	検証・評価結果、指摘事項等	市の考え方	担当部課名
<p>① 施策を構成する事務事業の評価・検証について</p> <p>・「5 施策を構成する事務事業の検証」が的確に行われているか。</p>	<p>構成する事務事業の検証についてはおおむね的確であるが、福祉情報発信事業に関しては、具体的にどのように周知を図るのかということも記載するべきである。</p>	<p>具体的な周知方法については、来年度事業実施に向け検討段階であるため記載しておりません。</p>	<p>健康福祉部 地域福祉課</p>
<p>② 施策の成果指標及び達成状況の分析について</p> <p>・「3 成果指標の達成状況」の「達成状況に関する背景・要因」の分析が的確に行われているか。</p>	<p>成果指標が1つだと施策の取組について正確な分析が難しいため、分析が十分ということとはできない。</p>	<p>第2期中期プラン（H29-H31）より成果指標を1つ追加し、2項目としております。これまでの「身近に相談できる人や機関がある市民の割合」に、「悩みや問題を抱えたときに相談できる場所や人」を知っている市民の割合」を加え、より詳細な分析に努めます。</p>	
<p>③ 施策の総合的な評価について</p> <p>・「6 施策の総合的な評価」が的確に行われているか。</p>	<p>民生委員に関することが唐突に課題として挙げられていることに違和感を覚える。また、「20歳から64歳までの現役世代への相談機関や窓口の周知方法について検討する。」との記載があるが、具体的な周知方法について踏み込んで記載するべきである。</p>	<p>地域福祉の推進において、民生委員が大変重要な役割を担っていただいていることから、取り上げたところです。今後は、分析、評価の過程が明確になるような記載に努めます。また、具体的な周知方法については、来年度事業実施に向け検討段階であるため記載しておりません。</p>	

施策No.2-5-2「長寿福祉の推進」

【暮らし部会】

評価項目	検証・評価結果、指摘事項等	市の考え方	担当部課名
<p>① 施策を構成する事務事業の評価・検証について</p> <p>・「5 施策を構成する事務事業の検証」が的確に行われているか。</p>	<p>構成する事務事業の検証については、おおむね的確であるが、老人クラブ会員数（高齢者社会参加活動支援事業）だけで成果を図ることが難しくなっているのではないかと。多角的に評価できる指標を設定してもいいのではないかと。老人クラブ以外の高齢者の活動団体の活動状況も把握してはどうか。→老人クラブ会員のニーズの把握等について取り組んでみてはどうか。</p>	<p>高齢者の社会参加の状況や活動状況を評価できる事務事業の成果指標について検討するとともに、各団体の活動状況の把握に努めます。</p>	<p>健康福祉部 長寿福祉課</p>
<p>② 施策の成果指標及び達成状況の分析について</p> <p>・「3 成果指標の達成状況」の「達成状況に関する背景・要因」の分析が的確に行われているか。</p>	<p>老人クラブの数だけでは的確に分析できない部分がある。社会経済的な要因等も含めて分析するべきである。</p>	<p>平成29年度から実施している介護予防・日常生活支援総合事業において、高齢者が生活支援の担い手として社会参加することで生きがいにつなげる取組を実施しています。今後はこうした取組における高齢者の参加状況なども含めた分析に努めます。</p>	
<p>③ 施策の総合的な評価について</p> <p>・「6 施策の総合的な評価」が的確に行われているか。</p>	<p>今後の方向性について、もう少し具体性を持たせることが望ましい。</p>	<p>具体的な取組としては、平成29年度から実施している介護予防・日常生活支援総合事業における、生活支援・介護予防の担い手となる地域のボランティア組織の体制づくりのための支援（組織立ち上げ経費の補助等）などを意図していました。来年度の評価においては、より分かりやすく記載するよう努めます。</p>	
<p>④ シート記載内容について</p>	<p>事務事業名はもう少し分かりやすいものがあればなお良い。</p>	<p>施策を構成する事務事業については、基本的には、現行の体系を維持してまいります。</p>	

施策No.3-1-1「子育て環境の充実」

【人づくり・地域づくり部会】

評価項目	検証・評価結果、指摘事項等	市の考え方	担当部課名
<p>① 施策を構成する事務事業の評価・検証について</p> <ul style="list-style-type: none"> 「4 施策を構成する事務事業一覧」の「施策への貢献度」の評価が的確に行われているか。 	<p>「直結度」評価はおおむね的確である。ただし、「直結度」の基準が現状では担当者の主観であるため、第三者に説明しやすい基準を工夫する必要がある。</p>	<p>現在、直結度の評価については明確な判断基準がなく、結果的に施策主管課の主観となっていることから、来年度に向け明確な基準の設定を検討します。</p>	<p>総合政策部 秘書政策課</p>
<ul style="list-style-type: none"> 「5 施策を構成する事務事業の検証」が的確に行われているか。 	<p>施策評価シートの記載内容と各事業の事務事業評価シートの内容とのつながりが明確ではない。記載内容が、事務事業評価シートの記載のどの部分を踏まえたものなのかが分かるような記載の工夫が必要である。</p> <p>さらに成果の向上を図る事業として記載されている「待機児童解消のための保育量確保対策事業」は、ヒアリングの過程において既存の事務事業の成果向上を図る内容（保育施設環境整備支援事業による施設の充実）と、新たに取り組むべき事業に相当する内容（マンパワーの確保）の2つに分けられることが分かった。マンパワー確保の側面での保育量確保対策については、新たに取り組むべき事業の欄に分けて記載するのが妥当である。</p>	<p>施策を構成する事務事業の数が多いことから、個別の事務事業の有効性や効率性などの評価結果を総括し、これを踏まえてわかりやすく施策評価シートに記載するよう努めます。</p> <p>「待機児童解消のための保育量確保対策事業」については、ご指摘のとおり、2つの欄に分けて記載することが適切と考えます。今後は分かりやすく記載するよう努めます。</p>	<p>教育部 こども課</p>
<p>② 施策の成果指標及び達成状況の分析について</p> <ul style="list-style-type: none"> 「3 成果指標の達成状況」の「達成状況に関する背景・要因」の分析が的確に行われているか。 	<p>成果指標の実績値の増減理由等はおおむね明らかになっている。ただし、市の子育て相談体制に関して「不十分」との回答が7.5%に上る背景や要因の分析が必要である。</p>	<p>「不十分」との回答の地域別の内訳は、花巻地域が77.5%、東和地域が15%、石鳥谷地域が7.5%となっています。これは、地域ごとの児童数によるニーズの偏在、管轄地域の広さに対し相談場所が限定されていることなどが要因と考えられます。今後はこういった背景を踏まえて分析するよう努めます。</p>	

<p>③ 施策の総合的な評価について ・「6 施策の総合的な評価」が的確に行われているか。</p>	<p>記載されている5つの課題は、特に事務事業の検証の記載とのつながりが不明確なので、両者のつながりを明確に記載する必要がある。</p> <p>施策に対する課題はおおむねとらえられている。</p> <p>「相談体制の充実」、「強化を図っていく」の記載については、ヒアリングにおいて、より具体的な取組が明らかになった。施策評価シートにおいても、具体的な取組を記載するようにした方が望ましい。</p>	<p>事務事業の検証結果を踏まえて施策の課題を洗い出し、わかりやすく記載するよう努めます。</p>	<p>教育部 こども課</p>
<p>④ シート記載内容について</p>	<p>「1 主な取組実績」は「4 事務事業一覧」の説明ではなく、施策の目玉となる実績をいくつかピックアップして記載したほうが良い。</p> <p>複数の施策評価シートの同じ欄（たとえば「主な取組実績」）の記載を見比べてみると、施策によって記載の仕方が異なっている。施策（記入者）による記載のバラツキが生じにくくなるような（施策評価シート記載要領の）工夫が必要である。</p>	<p>来年度の評価より、施策ごとの記載のバラツキが少なくなるよう、要領に記載のルールを明示するとともに、記載例により周知を図ることを検討します。例えば、「主な取組実績」の記載については、現状では、中期プランの「施策の方向」の項目ごとに簡潔に整理することとしています。これに加え、事務事業一覧や事務事業評価シートと重複するような詳細な内容を記載しないことなどの具体的なルールを設けます。</p>	<p>総合政策部 秘書政策課</p>

施策No.3-3-1「自主的学習の推進」

【人づくり・地域づくり部会】

評価項目	検証・評価結果、指摘事項等	市の考え方	担当部課名
<p>① 施策を構成する事務事業の評価・検証について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「4 施策を構成する事務事業一覧」の「施策への貢献度」の評価が的確に行われているか。 ・「5 施策を構成する事務事業の検証」が的確に行われているか。 	<p>一覧に記載されている事務事業については的確である。ただし、「主な取組実績」や「施策の総合的な評価」などの欄に記載がありながら事務事業一覧に記載されていない新花巻図書館整備についても、施策への貢献度の評価対象にすべきである。</p> <p>生涯学習に対する「ニーズの多様化」の具体的な内容が不明であり、明確な根拠に基づいて検証が行われているとは言い難い。また、生涯学習講座開催事業は、市以外の団体においても類似の取組が行われており、相互の連携により成果の向上を図る余地がある。</p>	<p>新花巻図書館整備については、平成28年度中は計画策定の段階であったため、今後の方針にとどめています。</p> <p>生涯学習講座を開催する中で、受講者から多種多様な分野を学習したいなどの意見が出ていることから、「ニーズの多様化」と記載したところから、今後は評価シートにわかりやすく記載するよう努めます。また、現在、振興センターや自治公民館等において行われる講座との連携を図っていますが、今後はそれ以外の団体の実施状況も考慮し、より効果的に施策を推進してまいります。</p>	<p>生涯学習部 生涯学習課</p>
<p>② 施策の成果指標及び達成状況の分析について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「3 成果指標の達成状況」の「達成状況に関する背景・要因」の分析が的確に行われているか。 	<p>生涯学習の成果指標は「参加者数」で把握されるべきであり、現状の指標「講師新規登録者数」は、施策の成果を測る上で適切でない。</p>	<p>本施策における「参加者数」は、開催する講座数や定員数により目標値や実績値が変動するものであり、活動指標に近いものであることから成果指標として適さないと考えております。生涯学習を通して得た知識、技能を地域で実践している状況を測る指標として「生涯学習講師新規登録者数」を成果指標としています。</p>	

<p>③ 施策の総合的な評価について ・「6 施策の総合的な評価」が的確に行われているか。</p>	<p>2つの課題の根拠が不明確である。講座の参加者数など、既に集められているデータの分析を反映させた形での課題抽出が行われるべきである。 「今後の方向性」の3つ目の新花巻図書館整備は、課題が示されていないのに今後の方向性だけが記載されており、適切でない。</p>	<p>今後は、参加者数などのデータに基づく課題抽出を行います。 「今後の方向性」の記載についてはご指摘のとおりであり、今後は「課題」と「今後の方向性」が対応するような記載に努めます。</p>	<p>生涯学習部 生涯学習課</p>
<p>④ シート記載内容について</p>	<p>事務事業検証の的確性や、施策の総合的な評価においても触れたように、データ等の具体的な根拠に基づいた記載が十分に行われていない。</p>	<p>参加者の声やアンケートに基づき記載しましたが、今後は講座の参加者数なども加え、評価シートにわかりやすく記載します。</p>	

施策No.3-3-2「青少年の社会教育」

【人づくり・地域づくり部会】

評価項目	検証・評価結果、指摘事項等	市の考え方	担当部課名
<p>① 施策を構成する事務事業の評価・検証について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「4 施策を構成する事務事業一覧」の「施策への貢献度」の評価が的確に行われているか。 ・「5 施策を構成する事務事業の検証」が的確に行われているか。 	<p>いずれの事務事業も複数の取組で構成されており、一覧を見るだけでは事務事業の内容の全体像がわかりにくい。そのため、2つの事業の直結度や貢献度の評価が的確なのか判断できない。直結度や貢献度の的確性以前に、事務事業の括り自体が的確でない。例えば青少年活動推進事業については、「成人式の実施」、「こどもの集い」、「おもしろ探検隊の開催」、「青少年関係団体支援」など事務事業の下にある各取組それぞれの施策への直結度評価も行うべきである。</p> <p>例えば「こどもの集い」や「おもしろ探検隊」に類似する取組はコミュニティ単位でも行われており、市の事務事業によるものが唯一無二という訳ではない。「効果的・効率的な行政運営の推進」や「コスト意識の徹底」を実現するためにも、他の主体による類似の取組をきちんと把握し、市の施策や事務事業でなければできないこと（市の役割）を見極めた上で施策や事務事業を設定すべきである。</p> <p>「さらに成果の向上を図る事業はないか」の1つ目の内容（生涯学習事業、先人顕彰、芸術文化、スポーツ等との連携による青少年育成が必要）は、施策評価シートの他の欄や事務事業評価シートの内容を見ても根拠になる記述がなく、的確な検証が行われているとは言い難い。加えて、青少年育成の内容についても、どのようなものを想定しているのか具体的な内容が記載されていない。</p>	<p>来年度の評価より事務事業を枝番で分けて、より詳細な内容を記載します。</p> <p>市が実施する事業は市全域を対象として広域的な交流をも考えており、コミュニティなどの単位で実施する事業とは受益の範囲や公益性の度合いが異なるものですが、その中でもご指摘いただいた「こどもの集い」のような事業については、今後、他の主体による類似の取組を把握し、市の事業を精査してまいります。</p> <p>芸術文化などについては、創造性や感受性豊かな時期に様々な良い体験をすることにより、人格形成に良い影響があると考えられることから、具体的な事業として、施策「5-3-1 芸術文化活動の推進」において、小学生のためのアートセミナーを開催しています。今後は、評価シートにわかりやすく記載します。</p>	<p>生涯学習部 生涯学習課</p>

<p>② 施策の成果指標及び達成状況の分析について</p> <p>・「3 成果指標の達成状況」の「達成状況に関する背景・要因」の分析が的確に行われているか。</p>	<p>読み手の立場で見ると、背景・要因の根拠が不明確であり、論理もわかりにくい部分がある（例：「少子化の進行や若者の転出者の多さ」と「青少年の関わりが見えない」のつながりや、「核家族化の進展」と「保護者や青少年の多忙化」のつながり）。そのため、分析が的確に行われているとは言い難い。</p> <p>成果指標の1つ「地域の行事やボランティア行事に青少年が参加していると思う市民の割合」に用いられている市民アンケートは、青少年自身と接点を持たない人を含んだ主観的評価であり、施策の目指す姿「自立した青少年が育っている」を把握する上で適切でない。青少年自身が育っている状況を客観的に測れる指標を用いるべきである。</p>	<p>つながりがわかりにくい部分については、「少子化の影響や進学・就職で転出者が多いことから、青少年と接する機会が少なくなり、青少年の関わりが見えない」、「核家族化が進展し、祖父母としての活動ができないこと、保護者は仕事、青少年は学業等で多忙となっていることなどにより、地域活動が停滞している」という意図でした。今後は分かりやすく記載するよう努めます。</p> <p>青少年が地域の中で行事やボランティア活動に加わるなど地域社会の一員となって育っているかどうか、青少年自身と接点を持たない人を含めた市民の認識の度合いを測るため、現在の指標としています。</p>	<p>生涯学習部 生涯学習課</p>
<p>③ 施策の総合的な評価について</p> <p>・「6 施策の総合的な評価」が的確に行われているか。</p>	<p>2つの課題のいずれも、成果指標の達成状況や事務事業の検証を踏まえた記載になっていない。特に課題の1つ目は、成果指標の分析や事務事業の検証を踏まえていないために、読み手の立場から見ると、社会で一般的に言われていることが書かれているだけで、市としての課題が提示されているように見えない。結果的に同じ趣旨の内容が市の課題として導き出されるとしても、その背景や根拠（成果指標や事務事業の検証など）をきちんと示すべきである。</p> <p>今後の方向性に書かれている「機会を設ける」、「意識の醸成を図る」、「連携した活動を行う」については、既存の事務事業の成果向上を図る話なのか、新たな事業を設定する話なのか、具体的な方向性が不明であり、課題に対する方向性の記載として適切でない。</p>	<p>課題の記載内容については、来年度の評価よりわかりやすく記載するよう努めます。</p> <p>今後の方向性の記載内容は既存の事務事業の成果向上を図る意図でしたが、「5施策を構成する事務事業の検証」に記載がなく、「6施策の総合的な評価」の「課題」とも対応しておりませんでしたので、今後はわかりやすく記載します。</p>	

④ シート記載内容について	事務事業一覧の「事業内容（実績）」の記載は、各事業の重要ポイントや全体像が分かりやすいようにもう少し詳しく書くべきである。事務事業評価シートを細かく読み解かないと事業の要点が把握できないのは、施策の実績を取りまとめるシートのあり方として適切でない。	来年度の評価よりわかりやすく記載します。	生涯学習部 生涯学習課
---------------	--	----------------------	----------------

施策No.3-4-1「生涯スポーツの推進」

【人づくり・地域づくり部会】

評価項目	検証・評価結果、指摘事項等	市の考え方	担当部課名
<p>① 施策を構成する事務事業の評価・検証について</p> <ul style="list-style-type: none"> 「4 施策を構成する事務事業一覧」の「施策への貢献度」の評価が的確に行われているか。 「5 施策を構成する事務事業の検証」が的確に行われているか。 	<p>「直結度」の評価について、主観的にはおおむね的確と考える。ただし、事業内容（実績）の欄に、直結度や成果の判断を行った理由やその根拠となる材料（例：早起きマラソンの参加状況など）を記入すべきである。</p> <p>市民ニーズや市の関与の必要性、投入コストのわりに成果が低い事業、施策への貢献度の低い事業が「なし」なのであれば、「なし」という結果だけではなく、その理由や根拠を明記すべきである。また、施策評価シートは「早起きマラソン」に関する記述のみであり、高齢者や障がい者等も含めた市民一般が「生涯にわたり気軽に」スポーツに取り組めるようにするためのきっかけづくりの取組については触れられていない。全体として施策の目指す姿の実現を意識した検証とはなっておらず、的確な検証とは言い難い。</p>	<p>「市スポーツ推進委員等が指導するスポーツ教室等の参加者数」のほか、「早起きマラソン延べ参加者数」や「体育協会主催のスポーツ教室の延べ参加者数」など、判断の根拠となる実績の記載に努めます。</p> <p>誰もが気軽に行うことができるニュースポーツを普及するため、各スポーツ施設等での用具の無料貸し出しや大会の開催を実施しています。これらの取組に触れるなど、施策の目指す姿の実現に向けた検証に努めます。</p>	<p>生涯学習部 スポーツ振興課</p>
<p>② 施策の成果指標及び達成状況の分析について</p> <ul style="list-style-type: none"> 「3 成果指標の達成状況」の「達成状況に関する背景・要因」の分析が的確に行われているか。 	<p>「早起きマラソン」の参加者の多くが小中学生であることを踏まえれば、延べ参加者数減少の背景・要因を「市全体の人口減少傾向」のみに求めるのは不十分である。少子化に伴う児童・生徒の減少などの、実際の参加者の属性などを踏まえた背景・要因への目配りが必要である。</p>	<p>少子化に伴う児童・生徒の減少のほか、クラブ活動等の朝練習などの影響も考えられることから、今後はこういった背景・要因を踏まえた分析に努めます。</p>	

<p>③ 施策の総合的な評価について</p> <p>・「6 施策の総合的な評価」が的確に行われているか。</p>	<p>成果指標の一部を構成する「早起きマラソン」についての記述しかなく、施策の目指す姿の実現を図るための課題の導出や、課題に対する方向性が提示されていない。市民が「生涯にわたり気軽にスポーツを行」えるようにするには、そのきっかけづくりが重要であり、その手段は「早起きマラソン」だけでは不十分である。きっかけづくりの手段としては、市民の誰もが参加できる「総合型スポーツ教室」への着目が必要であり、その参加促進を課題として取り上げるとともに、今後の方向性として具体的な参加促進策を示す必要がある。</p>	<p>生涯にわたり気軽にスポーツを行えるきっかけづくりとして、誰もが気軽に行うことができるニュースポーツを普及するため、各スポーツ施設等での用具の無料貸し出しや大会の開催を実施しています。また、「総合型スポーツ教室」については、市体育協会において 35 教室（延べ 377 回）を実施し、参加者数は延べ 6,458 人となっております。今後はこれらを踏まえた評価に努めます。</p>	<p>生涯学習部 スポーツ振 興課</p>
<p>④ シート記載内容について</p>	<p>施策評価シートと事務事業評価シートのいずれも、なぜそのような記載（結論）になったのか、理由や根拠が不明確なものが散見される（今回の例では、施策評価シート「5 施策を構成する事務事業の検証」にある 2 か所の「なし」の理由、2 つの事務事業評価シートの「目的妥当性」と「公平性」の記述がほぼ同一である理由、2 つの事務事業評価シートの「総合評価」が事業の結果の総括になっていない理由が、いずれも不明である）。外部の人が読んで理由や背景が理解できる筋道の立った説明が求められる。</p>	<p>事務事業評価シートにおいて明らかな誤記が認められたことから、複数の担当者による内容チェックの徹底に努めます。</p>	

行政評価の改善に関する提言

評価項目	検証・評価結果、指摘事項等	市の考え方	担当部課名
行政評価の改善に関する提言	<p>花巻市行政評価委員会の委員は花巻地域の方が大半占めている状況であるため、可能であれば、大迫、石鳥谷、東和各地域の代表の方を選任することを検討していただきたい。また、少なくとも、委員会の半数以上に出席できるような方を委員に選出するよう配慮すべきである。</p>	<p>現在の委員の構成は、「公共的団体等から推薦された者」、「学識経験を有する者」、「公募による者」の合計 18 人であり、実際に評価していただく際の部会のバランス等からそれぞれ、12 人、3 人、3 人を想定しております。このうち、「公共的団体等から推薦された者」について、大迫、石鳥谷、東和の各地域協議会などから選出していただくことが可能かどうか検討いたします。また、委員の選出にあたっては、各団体等への推薦依頼の際に行政評価の意義や委員会日程等を丁寧に説明したうえで、委員会への出席について協力を求めるようにします。</p>	総合政策部 秘書政策課
	<p>まちづくり市民アンケート結果はあくまで個人の主観であるため、まちづくり市民アンケート結果を施策の成果指標に使用するのであれば、ある程度評価の客観性を担保できるような設問に改善すべきである。</p>	<p>まちづくり市民アンケートの設問のうち、設問の内容がわかりにくいもの、アンケート回答者によって解釈が異なるおそれがあるもの等がないか確認し、補足説明等により改善するようにします。</p>	